

令和7年度

「議会報告会・意見交換会」
報告書



目 次

■ 実施概要	1
■ 報告書【総務常任委員会】	3
■ 報告書【教育福祉産業常任委員会】	6
■ 議会報告会・意見交換会 声をチカラに、声を力タチに…。	9
■ 参加者アンケート分析	10

■ 1. 実施概要

テーマ	(午前の部)総務常任委員会	(午後の部)教育福祉産業常任委員会
みんなで話そう「総合戦略」		
日 時	10/5 10:00~12:00	10/5 13:30~15:30
場 所	矢板市生涯学習館 2階 研修室1	
担当議員	<p>石塚 政行○ 委員長 渡邊 英子○ 副委員長 齋藤 典子 宮本 莊山 関 由紀夫 佐貫 薫 石井 侑男</p>	
	<p>神谷 靖○ 委員長 榎 真衣子○ 副委員長 掛下 法示 櫻井 恵二 高瀬 由子 小林 勇治 伊藤 幹夫</p>	

1. 実施概要

午前の部(総務常任委員会)



午後の部(教育福祉産業常任委員会)



2. 報告書

総務常任委員会

【稼ぐ】 担当委員：石塚政行 佐貫薰

	市民が感じている課題の具体的な内容	重要	緊急	課題を解決する施策案
地域産業の競争力強化	地元企業・商店街の活性化(空き家対策等)	◎		市と民間企業が事業継承マッチング支援事業を展開する
	地域資源を生かしたブランド商品の開発			プロジェクトチームの発足
	産業祭等の開催			PR事業の推進
企業誘致、地場産業の新興	産業団地の誘致	△		商・公・農あらゆる分野からの誘致活動
	地場産業のサイクル事業			PR事業(呼び込む施策)
	税制優遇措置			優遇内容等のみえる化
観光資源の活用	道の駅の整備	○		文化会館解体後の有効活用(駐車場整備等)
	スポーツツーリズムの推進			各分野との連携事業
ふるさと納税などによる外税収入の確保				

2. 報告書

総務常任委員会

【人財投資】 担当委員：渡邊英子 斎藤典子

	市民が感じている課題の具体的な内容	重要	緊急	課題を解決する施策案
子育て支援	全ての年齢が楽しめる居場所の充実			楽しめる場所の設置
	産婦人科赤ちゃんの産める場所が必要。子供が増えない	◎		情報を市民に伝え若い女性が戻れる仕組み
	挨拶運動 子供たちにとってお金がかからない楽しい街	◎		多世代交流し物作りなど、みんなで楽しめる
	中心市街地でも安心できる子供の居場所づくり			
	いろいろな場所に行ける交通手段の確保	◎		市民バスで目的地まで行けるように
	共働き家庭が多いので学校と学童の連携が必要	◎		安心できる子供の居場所に
教育環境の整備	図書館に未来館のような施設とカフェなどを備える			全ての年齢が自由に自分の時間を過ごせる場所
	文化施設がない。文化を学ぶ機会を増やしてほしい			
	日本語の学べる場所の環境整備	◎		学校か施設の空いている場所で、日本語教室
	大学、専門学校などの通学のための支援	◎	◎	矢板市に何年住んで、矢板市で働くこと条件に
	中高生の部活支援			遠征費などの部活動に対し支援
若者の定着促進	遊ぶ場所(スポーツが出来る場所)			自由に借りられる場所の支援
	矢板へのふるさと愛をはぐくむ			お祭りなどを通して若者が、帰りたくなる施策
	子どもを産める女性がいなくなる危機感を共有	◎		子どもがいなくなると街が無くなる事市民に伝える
	子どもたちにとって楽しい街に			若者たちとの交流を増やす
	矢板にも専門学校や、大学の誘致	◎		高校が3つあるので誘致できれば定着できる
	安く入れる住宅			
	働く場所の充実 就職支援			
多様な人材の育成	矢板のPR良さをアピールできる人材	◎		看板づくりなどで矢板を知ってもらう

2. 報告書

総務常任委員会

【社会資本投資】 担当委員：宮本莊山 関由紀夫 石井侑男

	市民が感じている課題の具体的な内容	重要	緊急	課題を解決する施策案
都市機能の再編	若手医師がいない／産婦人科がない／病院までの交通費に多額の費用が掛かる	◎		中核病院の確率
	空き地・空き家・農地集約をすべき			空き家対策
	コンパクトシティor郊外型の方針によって市庁舎建設場所の決定			新市庁舎は複合化して持続可能な地域基盤として整備／防災庁を矢板市に！(その中に矢板市役所を)
地域交通網の再設計	デマンド交通ではなくタクシー利用でまかなえないか？ タクシー券の配布法を考える(運転免許返納と合わせて配付するなど)	◎		市内循環バスの充実
公共施設の長寿命化	川崎小の再利用／廃校のメンテナンスはどうなっているのか？	◎		改修工事や定期的なメンテナンス
災害に強いまちづくり	漏水が頻繁にある			インフラ(水道設備)の整備
脱炭素・循環型社会の推進				気候変動対策推進計画をつくる

2. 報告書

教育福祉産業常任委員会

【稼ぐ】 担当委員：神谷靖 掛下法示

市民が感じている課題の具体的な内容		重要	緊急	課題を解決する施策案
地域産業の競争力強化	矢板農業の販売先の拡大不足			矢板農業の通信販売事業の開発
	労働力の不足			二地域居住や複合可能な労働文化を醸成し、若い労働力を確保する。
	地域おこし協力隊の活用が不足していないか。 活動に対して失敗を許さない雰囲気がある(失敗を許すマインドが必要)。	◎		地域おこし協力隊活動を市の発展に長期的に継続して生かす方策推進
	週末移住など新しいニーズに対する取組不足			週末移住、保育園留学やワーケーションのニーズを生かす
企業誘致 地場産業の新興	木質バイオマス産業の活用が不足			木質バイオマス熱源の積極活用。木質チップやペレットなど木質バイオマス燃料の販売拡大。
	矢板で起業してもお客様がこない。商品を置く場所がない。	○		矢板市のスタートアップ強化、ワークショップの場所の確保
	副業の時代の対応が不十分			労働収入だけでなく、講演会、研修などの権利収入の拡大推進
	女性・若者企業支援が不十分	○		女性や若者が起業しやすい環境整備
	起業に対するチャレンジ精神が不足(チャレンジできない環境になっている)	◎		失敗を恐れないチャレンジ精神の取組推進
観光資源の活用	矢板市消滅可能性自治体をどうするか	○		企業誘致、人口減少対策の推進
	矢板の地域毎の観光資源の新規掘り起こしが不十分	○		例えば矢板の城コース、歴史散歩、サイクリングロード
	若者の立場での観光ガイドがない。			中高校生の観光ガイド
	外国人の観光客の対応不十分			外国からの観光客を誘致する基盤整備
	文化・芸術・スポーツが十分に生かされていない			地域資源を活用した高付加価値型の産業・事業創出
	矢板応援大使の活用が不足			矢板応援大使、矢板特派員の活用
	廃校等の利用不十分(廃校利用料が高すぎる)			借用料金の安くして利用するハードルを下げる
	矢板の自然の観光資源が埋没している。			高原山の貴重な動植物、ナウマンゾウの歯などの展示による観光資源アピール
	新しい視点での観光施設の観点が足りない			城の湯温泉付近に宿場町のような施設を作る
ふるさと納税などによる外税収入の確保	SNSでの矢板アピール不足	○		関係人口、元市民での人のネットワークづくりで矢板のファン作り、SNSの活用

2. 報告書

教育福祉産業常任委員会

【人財投資】 担当委員：榎 真衣子 高瀬 由子

市民が感じている課題の具体的な内容		重要	緊急	課題を解決する施策案
ファミリーサポートの周知が足りない				周知・LINEの活用
ファミリーサポートの報酬が低すぎる				ベビーシッターの普及
子育て支援	学童・放課後子ども教室の質	◎		学童保育の質の向上(学童の時間のなかで習い事や体験活動ができる／ひまわりスクール)
	若い世代と子育ての仕方が違い、孫との関わり方がわからない	○		祖父母学級の拡大
	放課後学習塾が周知されていない			
	不登校の問題	◎		チャレンジハウスを片岡地区以外にも
教育環境の整備	不登校の問題	◎		不登校を未然に防ぐため、トラブルが起こった際のカウンセリング窓口の設置
	不登校の問題	◎		親のケア、不登校の親同士の当事者会の周知
	コミュニティスクールの地域格差			コンサルタントを入れるなど
	高校が3つあるのに大学がないため若者が外へ出て行ってしまう	○		特色ある大学をつくる(試験がないなど)
	自己肯定感が育たない			自己肯定感を高める教育と機械の創出
	子どもたちが矢板市内の企業を知らない	◎		矢板市の魅力を再発見・郷土愛の醸成
若者の定着促進	若者が外に出て行ってしまって戻ってこない			
	移住者が住む場所が少ない。他市町村の半分			企業誘致は時間がかかるので、市外へ通勤しやすくなることも必要
	公園に特別なものがない	○		公園等余暇を過ごす場の充実
	未来館は小3までしか遊べない。室内の遊びがない。	○		公園等余暇を過ごす場の充実
多様な人材の育成		◎		防災士・地域防災リーダー育成
		○		外国人財受入と生活支援
				人と人を繋げられる人材の適正配置
				多世代交流の機会創出

2. 報告書

教育福祉産業常任委員会

【社会資本投資】 担当委員：小林勇治 伊藤幹夫

市民が感じている課題の具体的な内容		重要	緊急	課題を解決する施策案
都市機能の再編	歩道、公共施設、公共住宅の段差のため不便		<input type="radio"/>	バリアフリー化
	駅周辺に公共施設を集約・複合化して賑わいの場を	<input type="radio"/>		コンパクト・シティー推進
	街中公園の整備して多世代交流の場			市街地緑化整備
地域交通網の再設計	公共Wi-Fiが無償で利用できると若者・旅行者に便利	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	DX推進
	地域循環バスは一方通行の為時間がかかり不便	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	双方向の見直し
	デマンド交通到着の時間が分からない	<input type="radio"/>		電子アプリの活用
	スクールバスの活用			スクールバスの有効利用
公共施設の長寿命化	地域循環バスどこでも乗り降りできないか		<input type="radio"/>	バーチャルバス停
	公共下水道が行き届いていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	合併浄化槽にて対応
	公共施設の複合化・多機能化して集約化する	<input type="radio"/>		駅周辺地域に集約
	水道管点検にAIを活用する		<input type="radio"/>	機械検査により制度アップ
災害に強いまちづくり	河川の川底・川幅が整備されているか			防災対策
	田んぼダムが注目を集めてるが本市の情況は	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	田んぼダムとしての整備
	防災DXの充実が必要では		<input type="radio"/>	DX推進
	地域ごとの防災や訓練の取組にが必要	<input type="radio"/>		行政区の取組支援策
脱炭素・循環型社会の推進	太陽光・木質バイオマス・風力・地熱を利用したエネルギー	<input type="radio"/>		エネルギーの複合化
	磁気熱処理によるごみの再資源化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	新技術によるエネルギー変換
	カーボンオフセットの活用		<input type="radio"/>	CO2排出量の把握
その他	社会資本投資の目指すは人口増加	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	災害の少ないまちをPR
	政策実行状況の達成状況を住民に定期的に告知	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	SNSの活用



議会報告会・意見交換会

声をチカラに、声を力タチに…。

今年度は、策定中の「矢板市（次期）総合戦略」について、一年を通して議会全体で審議するため、「みんなで話そう！総合戦略」というテーマで議会報告会・意見交換会を行いました。

「稼ぐ」「人材投資」「社会資本投資」の3つの領域に分けてグループワークを行い、市民の皆さまが日頃感じている課題やその解決のための施策案について、貴重なご意見をいただくことができました。

これから議会のなかで、皆さまからのご意見を踏まえた質疑や提案をし、市民の皆さまのご意見を反映させられるように尽力してまいります。

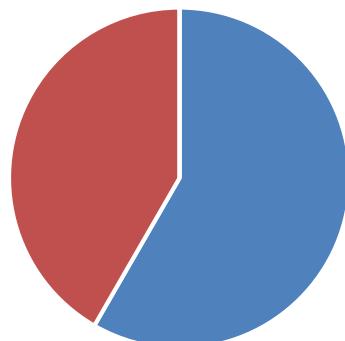
矢板市議会 議長
議会報告会運営委員長

宮本莊山
神真衣子

3. 参加者アンケート分析

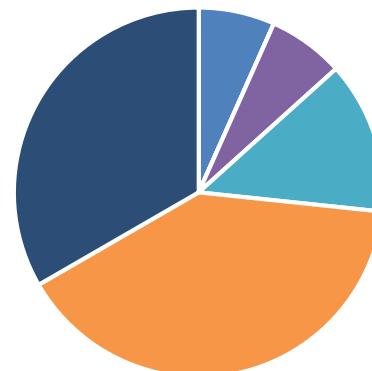
■ 午前の部

Q1-1 性別



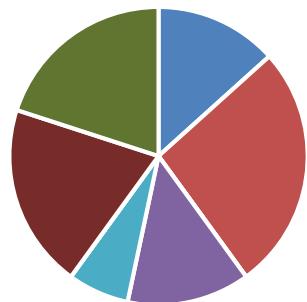
■ 男 ■ 女 ■ 無回答

Q1-2 年齢



■ ~10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代~

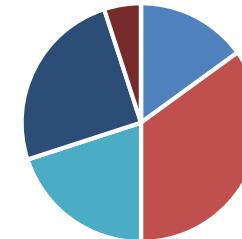
Q2 ご職業



■ 会社員 ■ 自営業 ■ 農林水産業 ■ 主婦
■ 公務員 ■ 団体職員 ■ 無職 ■ 他

■ 学生

Q3 どのようにしてこの会を知りましたか

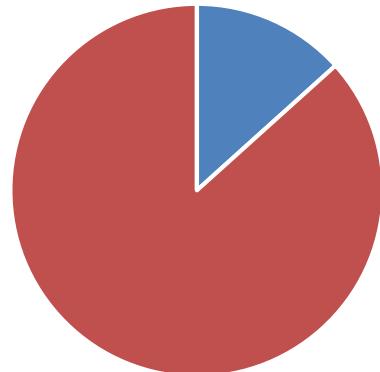


■ だより ■ チラシ(広報配布) ■ チラシ(傍聴時)
■ ポスター ■ LINE ■ HP
■ 議員 ■ 知人 ■ FB
■ X ■ 他

3. 参加者アンケート分析

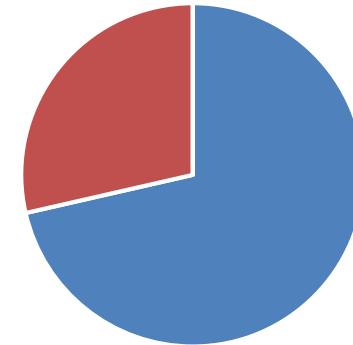
■ 午前の部

Q4 意見交換会の時間は



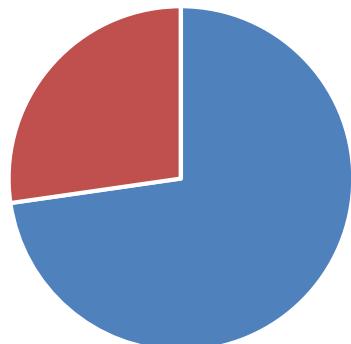
■ 短い ■ ちょうどよかった ■ 長かった ■

Q5 意見交換会の内容は



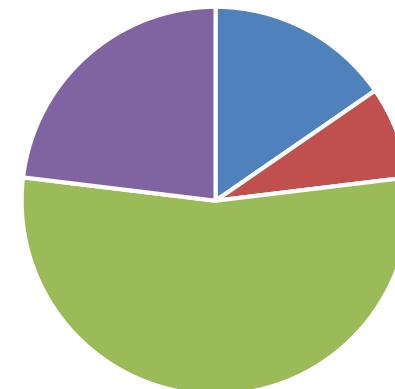
■ 大変よい ■ まあまあよい ■ どちらでもない ■ あまりよくない ■ 良くない

Q6 適切な開催頻度は



■ 年2 ■ 年1 ■ 2年に1 ■ その他

Q7 参加しやすい時間帯は

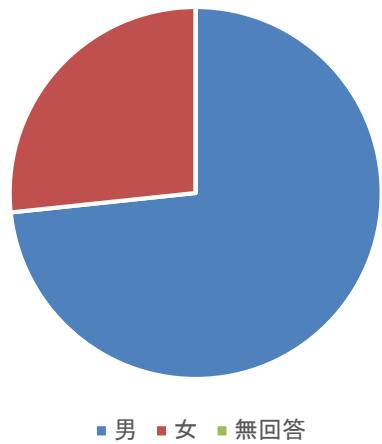


■ 平日昼 ■ 平日夜 ■ 休日昼 ■ 休日夜

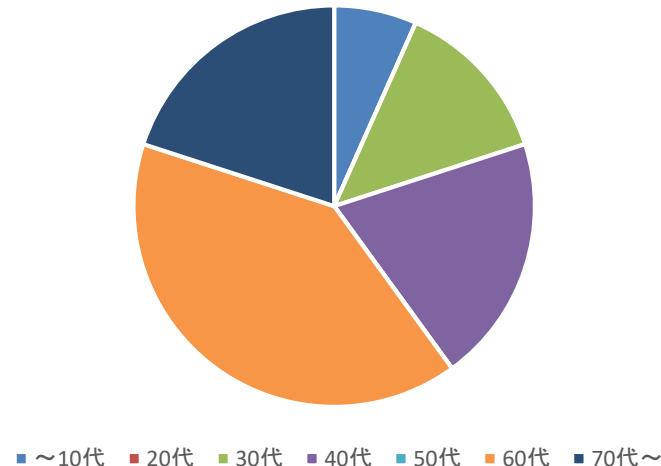
3. 参加者アンケート分析

午後の部

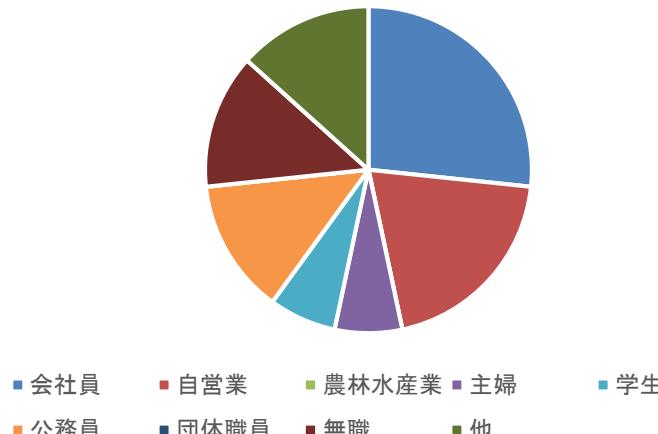
Q1-1 性別



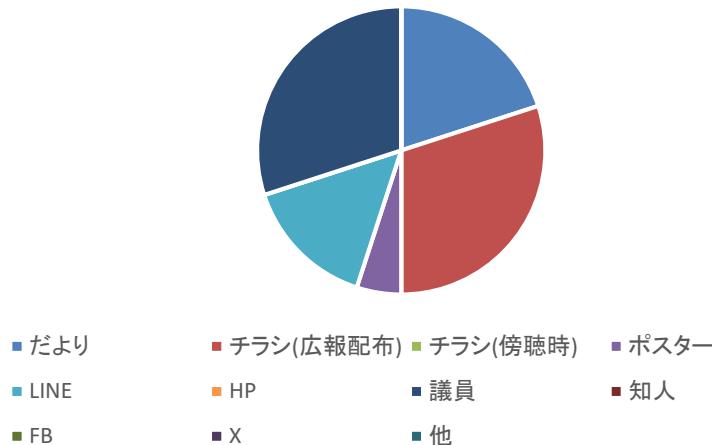
Q1-2 年齢



Q2 ご職業



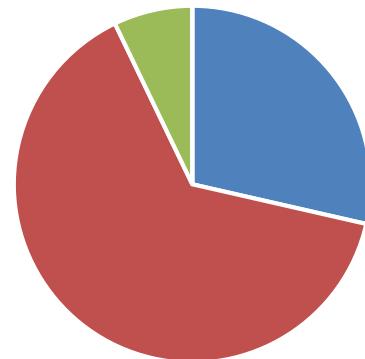
Q3 どのようにしてこの会を知りましたか



3. 参加者アンケート分析

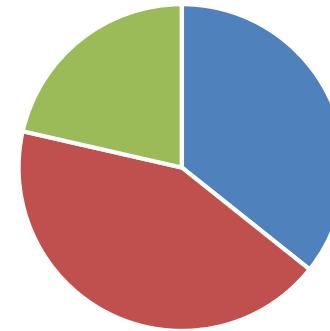
午後の部

Q4 意見交換会の時間は



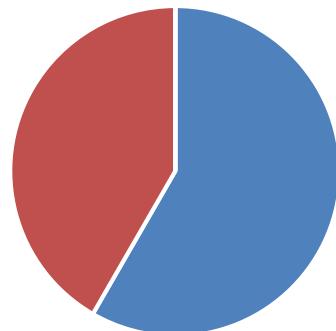
■ 短い ■ ちょうどよかった ■ 長かった ■

Q5 意見交換会の内容は



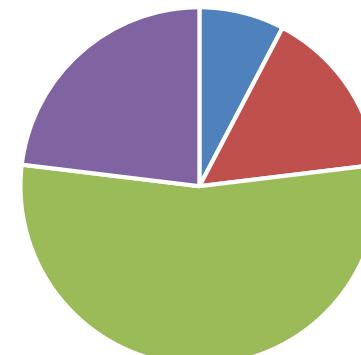
■ 大変よい ■ まあまあよい ■ どちらでもない ■ あまりよくない ■ 良くない

Q6 適切な開催頻度は



■ 年2 ■ 年1 ■ 2年に1 ■ その他

Q7 参加しやすい時間帯は



■ 平日昼 ■ 平日夜 ■ 休日昼 ■ その他

3. 参加者アンケート分析

■ 自由意見(午前の部／午後の部)

WG形式は、少し深い話をできるので良いと思います。ただ、矢板市には約3万人の人が住んでいるのだから、もっと多くの人もっと多様な世代に話が聞けるよう、取組も必要かと思います。若い人少なかったです。

内容は大変良かったのですが、否定的な意見が多いのが気になりましたので、まあまあ良いとさせていただきます。

いくら何でもテーマが多岐に渡るのに対して時間が短い。

行政視察のプレゼンを教えてくれる。

時間がもう少しあると良かったです。

時間があつという間で充実していた。

皆さんの意見を伺えて興味深かったです。「稼ぐ」に参加しましたが、ただ稼ぐだけでなく、矢板の良いところを残すようにしていただけたらと思いました。(自然環境など)

いろいろな考えが聞こえた。市議会議員からの現状の話が聞こえた。

いろんな意見がきけたから素晴らしい意見交換会でした。

活発に意見交換ができてよかったです。

いろいろな方の意見が聞くことができた。

矢板市の課題が見えた！

皆さんの貴重なご意見をお聞きして参考になったり、自分の意見にも反映されたりと、とても楽しい時間になりました。

又、自分が思っていた人材投資だったので、皆さんと意見交換をしていた時にワクワクしました。

自分で用意した、こうしたら提案を変えなかった。

気になる話題が総合戦略に組み込まれていた。

検討内容が事前に決められていてそこから選ぶ方式でよかったです。

視報告を矢板のどこに生かされているのかわからない。

個人個人の意見を自由に話せる時間をもっととれれば良かった。

もう少し時間が欲しい。事前にテーマをくわしく案内してほしい。

今回初めて参加して、とても緊張しましたが皆様と意見を共有できて良かったです。ありがとうございました。

とても楽しかったです。またあれば是非参加させて頂きたいのです。本日はありがとうございました。

フリートークならもっと活発な意見交換会になる。